

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公表番号】特表 2007-505180 (P2007-505180A)

【公表日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-009

【出願番号】特願 2006-525813 (P2006-525813)

【国際特許分類】

C 0 8 L 51/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/13 (2006.01)

C 0 8 K 5/372 (2006.01)

C 0 8 K 5/3492 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 51/04

C 0 8 K 5/13

C 0 8 K 5/372

C 0 8 K 5/3492

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 31 日 (2007.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

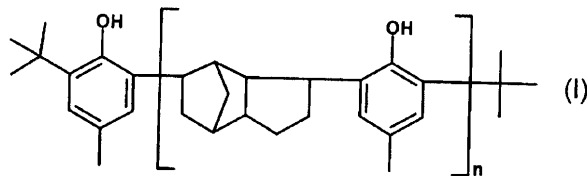
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) ポリブタジエン又はポリブタジエン - スチレンにおけるメチルメタクリレート及びスチレンのグラフトコポリマー (メチルメタクリレート - スチレン - ブタジエングラフトコポリマー MBS) であるポリマー ;

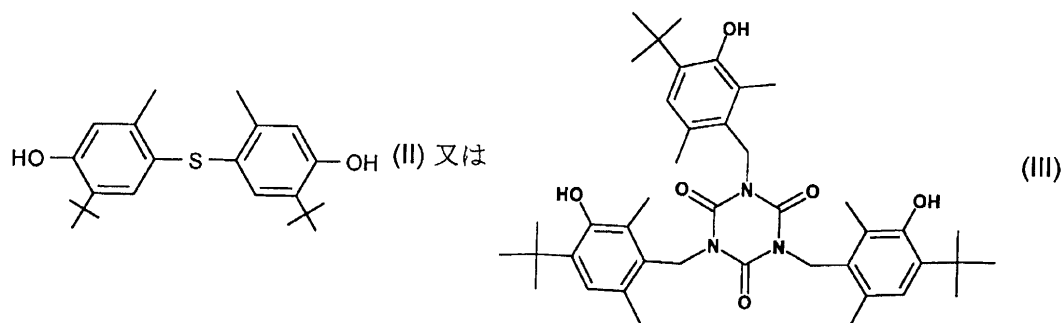
b) 式 (I)、(II) 又は (III)

【化 1】



(式中、n は 1 ないし 10 を表わす。)

【化 2】



で表わされる立体障害性フェノール系抗酸化剤又はそれらの混合物；及び

c) 式 (II) で表わされるものとは異なるチオエーテル；

を含む安定化されたポリマー組成物であるが、但し、ブタジエンにおけるグラフトコポリマーではない他のスチレンポリマー又はコポリマーが存在しないポリマー組成物。

【請求項 2】

固体状態の請求項 1 記載の安定化されたポリマー組成物。

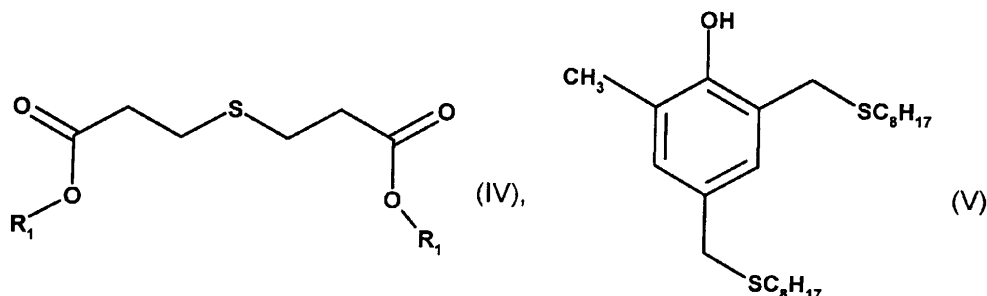
【請求項 3】

粉末又は粒質物形態の請求項 2 記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項 4】

チオエーテルが、式 (IV) 又は (V)

【化 3】



(式中、 R_1 は、独立して、炭素原子数 8 ないし 20 のアルキル基を表わす。) で表わされる化合物である請求項 1 記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項 5】

立体障害性フェノール系抗酸化剤とチオエーテルの比が 1 : 1 ないし 1 : 5 である請求項 1 記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項 6】

更に、請求項 1 に記載したものとは異なる更なる立体障害性フェノール系抗酸化剤、ホスフィット加工安定剤、UV 吸収剤、立体障害性アミン光安定剤、金属不活性化剤、酸掃去剤、脂肪酸の金属塩、蛍光増白剤、殺生剤又は界面活性剤を含む請求項 1 記載の安定化されたポリマー組成物。

【請求項 7】

ブタジエンにおけるグラフトコポリマーではない他のスチレンポリマー又はコポリマーが存在しないところの、ポリブタジエン又はポリブタジエン-スチレンにおけるメチルメタクリレート及びスチレンのグラフトコポリマー(メチルメタクリレート-スチレン-ブタジエングラフトコポリマー MBS)の安定化方法であって、

該方法は、以下の工程

a) 請求項 1 記載の式 (I)、(II) 又は (III) で表わされる立体障害性フェノール系抗酸化剤及びチオエーテルを MBS ラテックスへ添加する工程；

b) MBS ラテックスを凝固させる工程、及び、

c) 高温でMBSラテックスを乾燥させる工程
からなる方法。